

病院・施設職員検査へ

栃木県・宇都宮市 2万9000人を対象

共産党要望実現

栃木県は29日、高齢者入所施設、障害者入所施設、精神科病院の職員に、新型コロナウイルスの抗原検査を実施すると発表しました。日本共産党栃木県議団の要望が実現したものです。

福田富一知事は▽施設・病院でのクラスターが新規陽性者増加につながっている▽入所者は重症化リスクが高い▽無症状の段階で陽性者を見つける必要がある―と述べ、県と宇都宮市が約1250施設、およそ2万9千人に唾液による抗原検査

を実施すると説明。また、コロナ患者の入院病床を40床、宿泊療養施設を354室増やすとしました。

日本共産党の野村はつ子県議は「高齢者、障害者施設、医療機関の職員・利用者の定期的なPCR検査実施は感染拡大抑止対策の

肝であり、県議団は昨年8月以降4回の要望書を提出し、生活保健福祉委員会の実施を迫ってきた。遅きに失した感があるが、県が積極的検査に踏み出したことは評価できる。さらに検査対象を高年齢者・障害者等の通所施設や全医療機

関に広げ、定期的検査くとコメントしました。にするよう求めています。

東京新規感染633人

東京都は31日、新たに633人の新型コロナウイルス感染が確認されたと発表しました。1日当たりの陽性者が1000人を下回るのは3日連続。新規感染者を年代別にみると、20代が122人と最も多く、40代93人、50代89人、70代77人、30代76人と続きました。重症化リスクが指摘される65歳以上は185人で、都の基準での重症者は前日より1人減り、140人となりました。

医療体制が逼迫（ひっばく）している沖縄県宮古島市では、災害派遣された陸上自衛隊の看護師（看護官）ら

5人が、クラスターが発生した介護施設で医療支援を始めました。2週間、入所者の健康管理などの活動を行います。